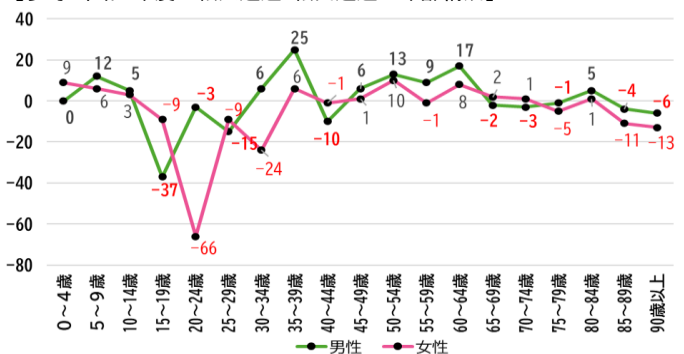


●基本目標

【評価】	実績値は▲898人となり、目標値である▲956人を58人上回る成果を達成することができた。 年度別の推移を見ると、R2(▲276人)およびR3(▲263人)は転出超過が260人台と大きい状況が続いてたが、R4以降は急速に改善が進み、R6は▲59人、R7では▲18人と、社会増減がほぼゼロに近づいている。移住・定住施策や雇用創出施策の効果が表れてきているものと評価できる。 一方、15～24歳の転出超過が極めて多く、進学・就職を理由とした若年層の流出は構造的な課題として依然続いているため、今後都市内における雇用機会の拡大や、子育て世代などに選ばれる地域環境の整備を進め、社会減のさらなる抑制に取り組む必要がある。
------	---

項目	実績値					
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
社会増減	▲ 276	▲ 263	▲ 97	▲ 185	▲ 59	▲ 18
自然増減	▲ 483	▲ 499	▲ 579	▲ 546	▲ 621	▲ 625
人口 (熊本県人口推計)	49,025	48,258	47,634	46,867	46,186	45,543



【評価】
実績値は1.66となり、目標値である1.70に対して0.04届かず、未達成という結果となったが、本市の合計特殊出生率は、全国の1.26、熊本県の1.52を上回る水準で推移しており、相対的には良好な状況を維持している。
また、基準値である1.64からは緩やかな上昇傾向が続いており、施策の一定の効果は認められる。一方で、出生数は年々減少しており、令和4年には年間300人を下回り、令和7年には年間204人まで減少している。母数となる女性人口の減少が続く中、「率」の改善だけでは人口減少の歯止めにはなっていないことが課題である。
長期人口ビジョンでは、2030年までに国が掲げた少子化対策の目標である希望出生率1.80を目標として設定しているため、今後も子育て支援の充実や結婚・出産を希望する若者への支援強化など、引き続き取り組む必要がある。

Year	山鹿市 (Yamaguchi Prefecture)	熊本県 (Kumamoto Prefecture)	全国 (National Average)
2005 (H17)	1.59	1.46	1.26
2010 (H22)	1.64	1.62	1.39
2015 (H27)	1.68	1.65	1.45
2020 (R2)	1.66	1.60	1.33
2022 (R4)	1.66	1.52	1.26

【評価】 実績値は331万円となり、目標値である310万円を21万円上回る達成となった。基準値である291万円との比較では40万円の増加（約13.7%増）であり、地域経済の成長という観点から顕著な成果といえる。 ただし、人口減少が進む中で、基幹産業である農林業・観光業をはじめ多くの業種で担い手不足が特に深刻化しており、地域経済の縮小リスクが高まっている。 第3期総合戦略では、地場産業の高付加価値化・若者や女性の就労機会拡大・地域内経済循環の強化を重点施策として位置づけ、引き続き地域経済の活力維持に取り組む必要がある。
